

宇和島市NPO活動調書

団 体 名	特定非営利活動法人 エデンクリエイト
活 動 内 容	保健、医療又は福祉の増進を図る活動 他
事 務 局 住 所	〒798-0038 宇和島市丸穂甲 960 番地 18
電 話 番 号	090-5712-9833
メールアドレス	

1. 活 動 内 容

活動初年度は当法人の知名度を上げる目標も含めて、「本邦及び本邦外に居住する者広く一般市民に対して、行政手続きに関する情報の普及や人権教育及び社会教育勉強会の開催を通じて人権の擁護又は平和の推進を図り、もって国民の健康と、全国の地域における経済活動、子どもの健全育成の発展」に関する調査研究を行い、効果的な実施方法を決めるとともに参加者を増員するために広報事業を重点的に行う。当法人の知名度が上がれば、結果的に「インターネットによる情報提供・当該地域における活動及び情報・助言又は援助の提供」寄与するものと思われることを踏まえて活動内容の重点テーマを地域の問題解決、理想実現に向けてNPO 同士の連携を深める取り組みを行います。それを通して、当法人の価値や理想、市民協働セクションへの問題提起、社会変革するNPO のあり方について議論を深めていき本来の市民社会に近づく第一歩をNPO 側から発信します。創案的には

『ハンディキャップ・バリアフリー支援プロジェクト』

『地元の親子を応援するプロジェクト』

『新規開拓事業』

そして法人設立以前から取り組んでいた事業

『国際協力事業』

国際協力事業についても、今年度から重点的に活動枠を拡大し地域課題と地域資源をつなげていきます。そして、新しいコミュニケーションのあり方や地産地消ができる環境作りなどの地域資源の発信に取り組み、収益事業としての収益構造を構築したい。

インターンシップやボランティアを積極的に受け入れ、市民社会に向けた人材育成を積極的に行います。またエデンクリエイトスタッフ内での情報の見える化や報連相を徹底し、風通しの良い、働きやすい組織づくりを行い、当法人エデンクリエイトに関わることで、地域に貢献できる人材育成に取り組めます。

2. 活動事例

※直近の活動実績及び今後の活動予定等

当法人の設立以前からの継続活動、フィリピン共和国への支援活動
四半期に分けて3ヶ月ごとに活動しています。



衛生管理について

手洗いや、うがいの慣行。石鹸・洗剤の使用方法。

歯磨きの方法などを教えています。



学校には文房具類の支援を行います。



3. 団 体 P R

私たちは今、世界規模での社会分裂、工業化と地球環境の破壊、閉塞感の蔓延する前世紀から平和と共存、多元的価値と文化の共生、地球環境と調和した富の創造へ挑戦する新しい世紀に立ち入ろうとしています。新世紀は高度情報化、経済・社会のグローバル化する時代に進む中で環境の悪化や食料問題、格差や貧困の問題の解決には、人々が住む地域が自立することが重要です。誰もがいきいきとした生活をおくることのできる地域となっていくためには、人が集い、人が繋がり、情報が集まり、そこから新たな知恵が生まれる必要があると考えます。

例えば、障害をもつ子どもの親として、または障害当事者として、あるいは支援者やその仲間として、一緒に地域で生きようと共に歩んできました。そして、それぞれの活動を通して地域で暮らすことの大変さや不安を強く感じました。閉鎖的な環境の中で情報に振り回されながら子育てに不安を感じている親たち。とりわけ子どもに障害がある場合には更に不安は強く、生きる力を失うこともたびたびです。そして、障害をもっているというだけで、幼児期から施設や特殊教育の場など、特殊な社会の中で生きることが当たり前になってしまう現実。学校教育を終えた後には生活の場も居場所も保証されていない現実。更に、根強い社会の差別や偏見。一方では、日々報道される子どもたちの荒れや犯罪が示すように、障害のあるなしや年齢、性別や立場に関わらず、誰もが生きる事への危うさや不安を抱えています。

しかし私たちは、どんな人も自分の人生を自分の手で創れることを確信しています。今の現実の中であって、ひとりひとりの力は小さく、できることも限られているかもしれませんが、でも、ひとりひとりがまた誰の代わりでもなくかけがえのない存在として、何かができることも確かです。私たちは地域で生きる中でぶつかるたくさんの壁に目をそむけず、諦めることなく、それらの問題を解決しようとする主体となることを決意しました。私たちは、地球環境を守る地域からの行動をすすめ、農林水産業のもち多面的機能を生かすとともに行政手続きに関する情報の普及や人権教育及び社会教育勉強会の開催を通じて人権の擁護又は平和の推進を図り、もって国民の健康と、全国の地域における経済活動、子どもの健全育成の発展をすすめていきます。

私たちは、こうした決意のもとに、それぞれの団体が果たしてきた歴史を踏まえ、新世紀に向けて、平和・人権・環境の取り組みに全力を尽くすことを構想し、設立します。